



山形城北高等学校

PTA 広報

No.7 2025年1月22日発行

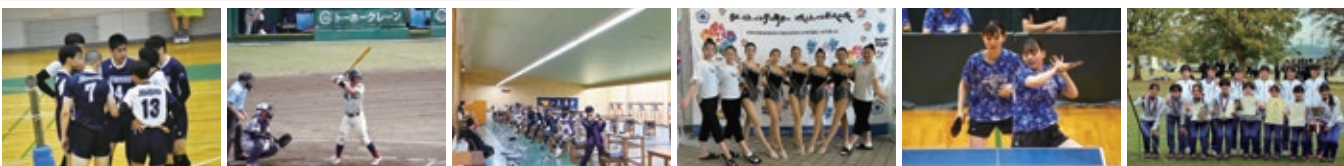
運動部 1年

運動部長 鈴木 和史

今年は、城北生のパワーが例年以上に感じました。運動部の選手たちは、目標としている大会に向けて、チームメイトと共に不撓不屈の精神で努力しておりその姿に感心します。

さて、競技スポーツをやっている以上、必ず勝ち負けがあります。目標としているものに近づいた人、たどり着いた人、たどり着かなかった人。しかし一番大切なことは、目標としているものために、「何を」「どれだけ」努力したかということ。それはつまり、それまで努力してきたことが、選手たちの財産になることなのです。

- 《全国大会》出場
男子バレーボール部 新体操部
女子卓球部・女子バドミントン部
男子・女子ライフル射撃部
《県高校総体》団体優勝
男子バレーボール部 新体操部・女子卓球部
男子・女子ライフル射撃部
《県新人大会》団体優勝
新体操部 女子卓球部 女子バドミントン部
男子・女子ライフル射撃部
《県高校駅伝優勝》
陸上競技部
《春高バレー県予選》優勝
男子バレーボール部

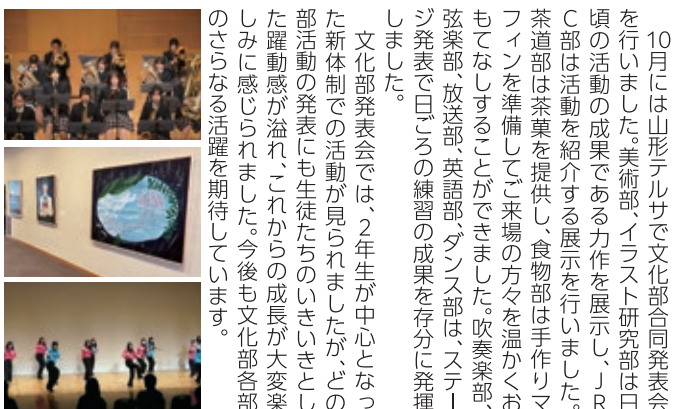


文化部 1年

文化部長 島崎 優子

日ごろより文化部の活動にご理解ご協力を賜りありがとうございます。今年度は県文祭が村山地区を会場に開催され、本校からも茶道部、弦楽部、美術部が参加し、日ごろの活動の成果を披露しました。

放送部は、NHK杯全国高校放送コンテストの創作ラジオドラマ部門と創作テレビドラマ部門への出場を果たしました。また、全国高総文祭にも朗読部門に個人での出場を果たしています。このような目覚ましい功績の他、他校と連携したラジオの放送など、日々多方面において活躍しました。また、JRC部と食物部は合同で新たに子ども食堂「山形城北ほかほか食堂」を開催しました。自分たちができることで地域に貢献したいとの思いで始めましたが、企画から運営まで高校生主体の子ども食堂は全国的にも珍しいとの評価をいただいております。



PTA会長あいさつ

小関 邦吉



まず始めに、私たちの学校・生徒を支える保護者のみなさま、先生方から感謝申し上げます。みなさまのおかげで私たちは多くの素晴らしい活動を実施し、生徒たちの成長をサポートすることができました。

この一年間、多くのイベントやPTA活動を通じて、親同士の絆や学校との連携を深めることができました。そして、たくさんのお祝いが出ることができました。その楽しそうな充実した笑顔を見ることができたあの瞬間が、私たちの支えになりました。「生徒が主役」「生徒の笑顔のために」これからは私たちの学校をより良い場所にするために、一緒に力をあわせていきましょう。また、生徒のみならずには引き続き、失敗を恐れず自分の目標に向かって果敢にチャレンジして欲しいと思います。

今後とも変わらぬご協力をお願いいたします。

学校長あいさつ

大沼 敏美



PTA会員の皆様には日頃より本校教育にご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。12月、恒例になっている特進科1年生対象の特別講義で、今年「身近な確率」を取り上げました。隣の人が左利きである確率、ガリガリ君が当たる確率、40人のクラスで同じ誕生日の人がいる確率など、9つの確率を小さい方から並べる問題で、全て正解した「一日校長」を任命すると伝えたのですが、残念ながら一人もいませんでした。

9つの中に、「あなたが生まれてきた」という確率を入れたのですが、これが最も小さいことはすぐに分かったようです。それが一体いくらになるかを厳密に求めることは困難ですが、父親と母親、それぞれから遺伝子を受け取り、複製することで「私」ができたことを考えると、その組み合わせから70兆分の1になるのだそうです。まさに奇跡としか言いようがありません。せっかくいただいた命ですから大切に、そして豊かに生きていきたいと思います。

今年度のおもな活動一覧

- ◆美術部
○初夏展 送別展
山形県立文芸美術館ギャラリー12
○第72回山形県高等学校美術展
○第48回山形県高等学校総合文化祭
◆弦楽部
○第48回山形県高等学校総合文化祭
村山大倉ステーション 出場
◆英語部
○文化部合同発表会でのプレゼンテーション
◆放送部
○第71回NHK杯
全国高校放送コンテスト
創作ラジオドラマ部門
創作テレビドラマ部門
○第48回山形県高等学校総合文化祭
朗読部門出場(10安達未架)
○第28回東北高等学校放送コンテスト
T.C部門・R.C部門出場
同アナウンス部門出場
(15須藤凛花、11野野谷咲)
○YBCラジオ
やまがた高校生ラジオ当番
特番担当
◆イラスト研究部
○専門学校日本デザイナー芸術学院主催
「2024アートアワード」2024
イラスト部門「学校賞」受賞
◆食物部
○山形城北ほかほか食堂
企画・運営 文化部合同発表会
○城北祭での手作りお菓子提供
◆ダンス部
○山形花笠まつり参加
○令和6年度第62回山形県私学大会
私立高等学校合同ダンス発表
◆茶道部
○第48回山形県高等学校総合文化祭(村山大倉)参加
◆吹奏楽部
○全日本吹奏楽コンクール 銀賞
◆JRC部
○山形城北ほかほか食堂 運営
みつばち公園の花壇の整備
および管理
(み)はちみつプロジェクト
○近隣の高齢者を除雪活動
(男子サッカー部と合同)

2学年委員長あいさつ

田中 一夫



日頃より、PTA活動にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。感染症との共存順応など、取り巻く環境は未だに先行き不透明ではありますが、クラスマッチや城北祭、修学旅行など従来の思い出に残る行事が無事に行われたこと大変嬉しく思います。

今年度は、第二学年PTAも子どもたちと何か一緒に思い出を残していきたいと思っております。PTA有志で城北祭に模擬店に参加させていただき、好評を得ることができました。来年度は最終学年となり、子どもたちを高校生として送り出せる時間も残り一年となります。PTA活動は一部の役員だけの活動ではなく、子どもたちと携わる保護者のみなさんとの活動でもあります。幼稚園や保育園の保護者会活動、小学校や中学校のPTA活動のようにはいかなくとも、役員以外の多くの保護者にも参加を募り、子どもたちと何かしら一緒に思い出を作っていけるようなPTA活動を目指してまいりますので、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1学年委員長あいさつ

峯田 亘



日頃より、PTA活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。城北高校にお世話になり、日々多くの刺激を受けています。学校での学びや活動を通じて成長する生徒たちの姿は、保護者としても心から誇らしいものです。

最近、「カラス効果」という言葉を知り、それを意識するようになりました。これは、特定の事柄に注意を向けることで、関連する情報で自然と目飛び込んでくる現象です。たとえば、赤い車を意識し始めると、普段は気づいていなかった赤い車が街中で目につくようになる、というようになります。同じように、城北高校生の活躍というテーマに目を向けると、学校生活の中で生徒たちがどれほど多方面で頑張っているかに気付く機会が増えるのではないのでしょうか。広報紙を通じて、そんな城北高校生たちの輝く瞬間を、皆さまと共有できることを楽しみにしています。この広報紙が皆さまにとって、新たな発見や喜びのきっかけとなれば幸いです。

これからもどうぞよろしくお願いたします。

今年度の進路状況について

進路指導課長 齋藤 譲一

進路希望状況と全国的な動向
今年度、第3学年の進路希望状況は以下の通りです。

合格・内定先一覧(12月20日現在)
(大学)
東北文科大学 山形大学 東北農林専門学校 岩手大学 宮城大学 青森中央大学 山形大学 岩手大学 宮城大学 青森中央大学 山形大学 岩手大学 宮城大学 青森中央大学...

- 短期大学進学希望: 約57%
○専門学校進学希望: 約26%
○就職希望: 約15%
○その他: 約2%
全国的な傾向として、大学進学希望者が減少する動きが続いており、本校でも同様の傾向が見られます。合格・内定状況は後の資料をご覧ください。
◆進学について
近年「総合型選抜(旧AO入試)」や学校推薦型選抜といった入試が大学進学希望者に注目されています。これらへの入試は、大学入試改革やコロナ禍に起因する志願者減少により、特に魅力的な選抜肢となっています。特に総合型選抜は9月から学校推薦型選抜は11月に出席のピークを迎えるため、早期からの準備が重要です。本校では、以下の取り組みを進めてまいります。
・面接指導
・面接練習
・面接対策
◆進学に向けた学力向上支援
一般選抜を目指す生徒への学習指導
就職について
本校では、以下のような指導を行っております。
○民間企業志望者へのサポート
○公務員志望者への対応
○公務員試験等を利用した対策講座の実施
○放課後等を利用した対策講座の実施
◆今後の指導方針
進路は生徒の人生における大切な選択です。本校では、全国的な動向を把握しつつ、生徒一人ひとりの希望や適性を尊重しながら、進路実現に向けた指導を進めてまいります。保護者等との皆様におかれましても、進路についてのご相談やご意見がございましたら、どうぞお気軽にお知らせください。引き続き、学校とご家庭が連携し、生徒の未来を共に支えていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いたします。

令和6年度 PTA常任委員

保護者等

Table with columns for roles (会長, 副会長, 監査委員, 常任委員) and names of members.

教職員

Table with columns for roles (副会長, 常任委員) and names of staff members.

PTA研修会

金融教育研究校講演会

PTA会長 小関 邦吉

昨年引き続き、去る8月30日に城北祭との合同企画としてPTA研修会が開催されました。金融教育研究校として指定されている城北高校今回のテーマは「お金のほなし」です。実業家でありテレビコメンテーター、タレント、政治評論家とメディア出演も頻りに行い活躍されている杉村太蔵氏をお迎えしての講演となりました。

普段、誰しもが身近に接しているお金ではありますが、なかなか深く掘り下げて考え、語られるものではないのも事実。お金の大切さや、お金の正しい稼ぎ方をわかりやすく、且つ面白くお話ししていただきまし。何より、「一人のために必要なお金の使い方やお金の稼ぎ方が重要なんだ」という言葉が印象的でした。次回も有意義な研修会、楽しみにしております。そして多数の保護者のみなさまにご参加いただき、ありがとうございました。



「成長と学び」

2年7組 齋藤 大地

私たちの修学旅行は、城北の国内修学旅行としては最後となる旅です。私の中学校での修学旅行はコロナウィルスの影響で規模が小さかったため、今回の旅行には大きな期待を抱いていました。クラスも目標も別研修の行き先も、みんなで真剣にそしてアイデアを出し合って決めて、準備万端で出発しました。

初めての京都、奈良では、山形では感じることのできな歴史ある街並みの雰囲気、迫力のある歴史建造物に驚きがありました。特に初日に行った清水寺は、教科書やテレビで見ることがなかったもので、実物を目の前に心が惹きつけられました。二日目の奈良公園では想像以上の多くの鹿と触れ合うという貴重な体験をする事ができました。京都、奈良はやはり人が多く、外国人観光客でこへ行っても賑わっていました。また、関西ならではのガイドさんの明るさや、店員さんのノリはインパクト大で、これもまた忘れられない思い出です。

そんな修学旅行を振り返ると、京都、奈良の長い歴史に触れたことだけでなく、多くの人に触れ合うことができたことも学びになったと思います。普段は見る事のない友人の素顔に触れたことや、学年のみんなでご飯を食べるといった、中学では味わえなかった修学旅行ならではの思い出がありました。仲間と共に考え計画を立てるといった準備の大切さ、それを実行する楽しさ、大変な時こそ協力して支え合う大切さも学びました。私はこの収穫ができたことを一番嬉しく思います。私たちはこれからそれぞれの進路に向かって活動を進めていきます。これからの大変な時期こそ、学んだこと、身につけた力を活かす時だと思えます。支え合いながら頑張りましょう。

最後に学年主任ミッシヨンの「旅の心をみそ汁と」（短歌に詠む）の私の歌です。

「奈良の鹿
お金があれば モテモテだ
人とは違う 甘い世界だ」



2学年PTA企画

第2学年委員長 田中 一夫

それは「子どもたちとの学校生活の中で、親も一緒に思い出を作れるといいよね」と、PTA運営委員懇談会の際に、保護者から出た何気ない一言がきっかけでした。他の保護者からも意見を募り、第2学年PTA城北祭企画として、PTA有志、先生方、そして協賛企業より、一部食材のサポートを受け、「本気のつったい肉そば」を提供する運びとなりました。

城北祭二日目当日、生憎所用のため私は参加できませんでしたが、有志の皆様と先生方の見事な段取りとオペレーションのおかげで大好評を博すことができ、材料は十分な量を準備していたつもりでしたが、想定よりも多く来店いただき、開催時間途中で売り切れになったと報告を受けました。



「想造」

城北祭実行委員長 武田 沙優

今年度の城北祭は「想造」というスローガンを掲げ、城北生一人ひとりの想いを巡らせ、新しい城北祭をクリエイトするという意味が込められていました。城北祭二日間はスローガンに相応しい、大イベントになったと思います。一日目は、やまぎん県民ホールで行われ、ステージ発表が中心でした。クラスや部活動の個性が光るパフォーマンスが次々に披露され、さらにはオズワルド、サルゴリラのお笑い芸人、二組と歌手のAYANEが登場し、会場は大いに盛り上がりしました。特に歌手のAYANEさんのライブは圧倒的で、会場がスナホのライトで幻想的に輝く中、全校生で一体となって楽しんで瞬間は、今でも鮮明に心に残っています。一日目最後の締めくくりは、今年度からの新たな企画となる全校合唱「オリーブはじまり」でした。指揮の穴戸颯汰さん、伴奏の原田杏さんに加え、硬式野球部の皆さんがステージ上に登場し、合唱中は笑いが飛び交うなど、とても和やかなフィナーレとなりました。



「修学旅行の思い出」

2年12組 古瀬 和奏

私がずっと楽しみにしていた修学旅行。初日は菅原道真公を祭っている北野天満宮と赤い鳥居で有名な伏見稲荷大社を訪れました。北野天満宮では学業成就の祈願も早々に、境内にある恵比寿様の口に小石を落とさず置くことが目的になっていた気がします。落ちなかった石を財布に入れておく受験に落ちず、金運も上がるというご利益があると聞き、必死になって挑戦しましたが、なかなか成功しませんでした。伏見稲荷大社でも、自分の目標を強く念じて持った重軽石が、想像以上に重く、「もって努力しなければ」と決意を新たにしました。

二日目のクラス別研修、薬師寺で聞いた説法の「面」が上を向き、光を取り入れると「面白い」、面が下を向き、光を閉じると「面倒になる」という話がとても印象的で、何事も上を向いて楽しむことの大切さを学びました。その後の奈良公園では鹿せんべいを買って、可愛い鹿と戯れるつもりが、物事は思い通りにいかないので戯れるどころか、可愛いルッコラに反した野生動物の凶暴さを知るようになりました。東大寺大仏殿では、大仏の荘厳さと建物の大きさに圧倒され、創建当時は現在の重機等はないにも関わらず、本当に人間の力だけで作ったのかと疑いたくなるほど大きく、精巧で、当時の技術力に感動しました。午後には訪れた平等院鳳凰堂では朱色の建物の美しさだけでなく、阿字池に映る逆さ鳳凰堂の幻想的な姿に心を奪われました。視点を交えることによってそれまで見えていなかった素敵な一面に気づくことができました。

三日目は別研修で嵐山と清水寺を訪れました。嵐山でのオルゴールの飾り付け体験や、湖でのポート清水寺で苦戦する姿に大笑いしたこと、清水寺で日の入りを見たことは私にとって友達との絆が深まり、「一生の宝物になりました」。私は、この修学旅行を通して多くのことを学びました。歴史や文化に触れたことで、展望が広がり、自分も努力を重ねていこうという気持ちが強くなりました。今回の経験を生かして残りの高校生活を充実させたものにしていきたいと思います。

山形県私学大会

1学年委員長 董田 直

9月29日、やまぎん県民ホールで開催された第62回山形県私学大会に参加しました。一番印象に残ったのは、それぞれの学校が、生徒一人ひとりの才能を引き出すために、いろいろな取り組みをしてくださるということです。例えば、ダンスや吹奏楽の発表など、生徒たちが自分の得意なことを発表する場があるのは素晴らしいと思います。

また、先生や保護者、生徒がみんな集まって、教育について話し合う機会があることも大切だと感じました。みんな力を合わせれば「子どもたちはもっともっと成長できる」と思いました。今回の大会で、たくさんの人に会い、色々な話を聞くことができて、とても良い経験になりました。最後に、このような素晴らしい機会を提供してくださった私学関係のみなさま、大変ありがとうございました。



金融教育について

消費者教育担当 原 みのり

消費者教育の授業を行うにあたって、これからの長い人生を送る際に必要な金融や経済に関する正しい知識を学んでほしいという思いで毎時間、授業の内容を考えながら行ってきました。

2年生の授業では、環境問題や悪質商法、クレジットカード、お金の役割について行い、12月中旬には日本銀行仙台支店への見学など金融知識を深める時間を行いました。3年生の授業では、これから社会に出るにあたって給与明細の見方や税金保険について取り上げました。その後、ライブイベントに係る費用を提示しながら、生徒一人ひとりが将来を想定してライフプランを立て、発表する授業を行いました。このような授業を通して、少しでも今後の生活に役立ってくれたら嬉しいですね。

消費者教育(金融教育)を学んで

2年5組 赤木 志央音

私はこの消費者教育の学習で、社会の金融について学びました。特に日本銀行オンライン授業では、金融についてのお話はもちろん、今問題にもなっているアルバイトの手口や対策について学び、お金についてもっと気を遣って生活していかなければならないと感じました。また、私たちは仙台にある日本銀行で見学するという貴重な経験もしました。

他にも、ライフプランを立てる授業では、今後何にお金が必要か、具体的に自分の人生と向き合ってみる、未来を予想して生活していかなければならないと実感しました。この一年間で学んだことは、確実に自分のためになるものばかりでこの消費者教育の授業に感謝したいです。

2年5組 横山 清嗣

私は今年、消費者教育の授業を受け、たくさん身の回りの環境について学ぶことができました。今まで受けてきた授業の中でも印象に残っているのは、環境問題についてのスピーチ発表です。私は森林伐採について調べ発表しました。木を切り落とすことで二酸化炭素が増加することや動物の食物連鎖のバランスが崩れてしまうなどといった環境だけでなく、動物や私たち人間にも被害が及ぶなど、普段の日常生活を送る上では知ることのできないことを、授業を通して知ることができました。

また、後半はお金の知識についても学ぶことができ、日本銀行仙台支店への見学が行ったりと知識を広めることもできました。この一年間、消費者教育を通してこれから先、僕の強みになると思います。これらの知識を力に変え、今後の人生に役立てていきたいと思っています。



2学年金融教育

